

平成 21 年 12 月 25 日

NTT東日本埼玉支店

耳や言葉の不自由な方とのコミュニケーションツール 「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」を贈呈

～ 地域との密着した継続的活動の実施 ～

NTT東日本埼玉支店(支店長 佐藤 謙一)では、CSR 活動の一環として平成 22 年版「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」を社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 さまへ贈呈いたしました。

今後は、埼玉県内の各市町村や福祉団体 さまへ贈呈してまいります。

【「電話お願い手帳」・「ふれあい速達便」について】

社会貢献活動については、地域社会と密着し事業を営み、社会と共生する「良き企業市民」をめざし、地域社会の発展に向け継続的かつ積極的に社会貢献に取り組んでいます。

「電話お願い手帳」は、1983年にお客さまから寄せられた要望をヒントに作成し、以降毎年東日本エリアにおいて10万部以上を地方自治体や企業にご協力いただき配布しています。

また、ご利用者から寄せられたご意見・ご要望を参考に毎年改善を加えており、今回は「緊急」頁に「119」と「AED」をお願いする項の追加等を図りました。

なお、「電話お願い手帳」とともに、耳や言葉の不自由な方のコミュニケーション手段として、ファクスを簡単に利用していただくことを目的としたファクス送信用紙「ふれあい速達便」の発行も行っております。

NTT東日本埼玉支店は、今後も地域社会の発展に向け、「電話お願い手帳」と「ふれあい速達便」の配布をはじめとする社会貢献活動を、継続的かつ積極的に取り組んでまいります。

記

1. 贈呈日 平成21年12月17日(木)
2. 贈呈先 社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会
副会長 大津 暁 様
3. 贈呈者 NTT東日本 埼玉支店
総務部長 金子 陽之

4. 贈呈品 (1)「電話お願い手帳」 50部
(2)「ふれあい速達便」 50部

5. 「電話お願い手帳」「ふれあい速達便」の概要

(1)「電話お願い手帳」

耳や言葉の不自由な方が、外出先で何かを尋ねたり連絡を行う際に、用件や連絡先を周囲の方に伝え、協力をお願いするために使用するコミュニケーションツールです。

お客様からいただいたご要望をヒントに、NTTが昭和58年から配布を開始したもので、地方自治体・福祉団体や企業を通じて無料でお配りしています。

(2)「ふれあい速達便」

耳や言葉の不自由な方のコミュニケーション手段として、ファクスを簡単に利用していただくことを目的としたA5版のファクス送信用紙です。

「NTTふれあいFAX」(電話の移転、ご注文等、NTTへのご相談をファクスで受付するサービス)、「NTTファクス104」(ファクスで番号案内を受付するサービス)などを掲載しています。

6. 平成22年版「電話お願い手帳」の主な改善点

- (1)「緊急」頁に、「119」と「AED」をお願いする項を追加しました。
(2)依頼を受けた方が、一目見て何を目的としたツールか分かりやすくするため、「表紙」のロゴを拡大するとともに、「電話お願い手帳」の目的を追記しました。
(3)表紙カバーの色を変更しました。(平成21年版「グリーン」 平成22年版「オレンジ」)

7. その他

- (1)埼玉県内の配布数は、「電話お願い手帳」約9,000部、「ふれあい速達便」約8,700部を予定しています。
(2)本手帳は、地球環境に配慮し、手帳カバーには、燃やしてもダイオキシンが発生しない素材(ポリオレフィン)を、手帳本体にはリサイクルペーパーを使用しています。
(3)災害・緊急時に役立つ「災害用伝言ダイヤル」「災害用ブロードバンド伝言板」の情報等も掲載しています。